

メディアレピュテーション調査—全国の一般生活者による情報源の信頼度評価 最も信頼度の高い機関は「大学」 「新聞(全国紙)」「テレビ(民放)」は急落、「野党」の信頼度が最も低い

ノルド社会環境研究所(本社:東京都中央区、代表取締役:久米谷弘光)は、発信主体別の情報の信頼度を評価するメディアレピュテーション調査を2014年3月に、全国の20歳以上の男女個人709人(有効回収)を対象にWebアンケート調査を実施いたしました。

本調査では、マスメディア、政府・中央省庁、自治体、研究機関、企業、NGO・NPOなど35の機関の情報信頼度を5段階評価で尋ね、その信頼度を平均スコア※で示しています。また、最近特に信頼度が低下したと思う機関とその理由も尋ねており、生活者の生の声から、各種機関・メディアの信頼度を分析しました。

※平均スコア:「大いに信頼できる」10点、「まあ信頼できる」5点、「どちらともいえない」0点、「あまり信頼できない」-5点、「信頼できない」-10点として得点化した信頼度を示す平均スコア。

● 「大学」が「日本経済新聞」を抜いてトップ、最下位は「野党」

35機関の中で最も信頼度が高かったのは、「大学」です(図1)。2009年に実施した同様の調査では2位だった大学が、信頼度スコアを伸ばし、「日本経済新聞」を抜いてトップになりました(図2)。一方、信頼度の最下位は「政党(野党)」となっており、2009年の調査で最下位の「政党(与党)」と逆転しています。2009年8月に当時野党の民主党が中心となり政権交代を果たしたものの、その後の政権運営では生活者の期待を裏切る結果となり、2012年12月に再び自民党・公明党が与党となりました。このときの民主党への不信感やその後の野党各党の混乱が信頼度の低下につながっていると言えそうです。

● 国より身近な自治体を、全国紙より身近な地方紙を信頼

「市区町村」「都道府県」の信頼度は、「国・政府」を上回っています。中央省庁や国よりも都道府県、さらに身近な市区町村の信頼度が高いという結果は、2009年の調査結果と同様です。新聞においても「全国紙」より、身近な「地方紙」の信頼度が高くなっています。

35機関の信頼度スコアの平均値は2009年に比べ回復しています。相対的な順位では、「市町村」「都道府県」「企業・事業所」「防衛省」が上位へと順位を上げています。東日本大震災での各機関の救援対応などが信頼度向上につながったと考えられます。

● 「新聞(全国紙)」「テレビ(民放)」の信頼度は急落

「日本経済新聞」がトップから陥落したほか、「朝日新聞」「読売新聞」「毎日新聞」など全国紙の信頼度が急落しています(図2)。このほかに、「テレビ」「ラジオ(民法)」「インターネットポータルサイト」でも信頼度を下げています。情報収集手段が多様化する中で、偏向報道や情報操作が目につくようになり、信頼を失っていると言えそうです。

● 特に信頼度が低下したのは「国・政府」、次いで「テレビ(民放)」「テレビ(NHK)」

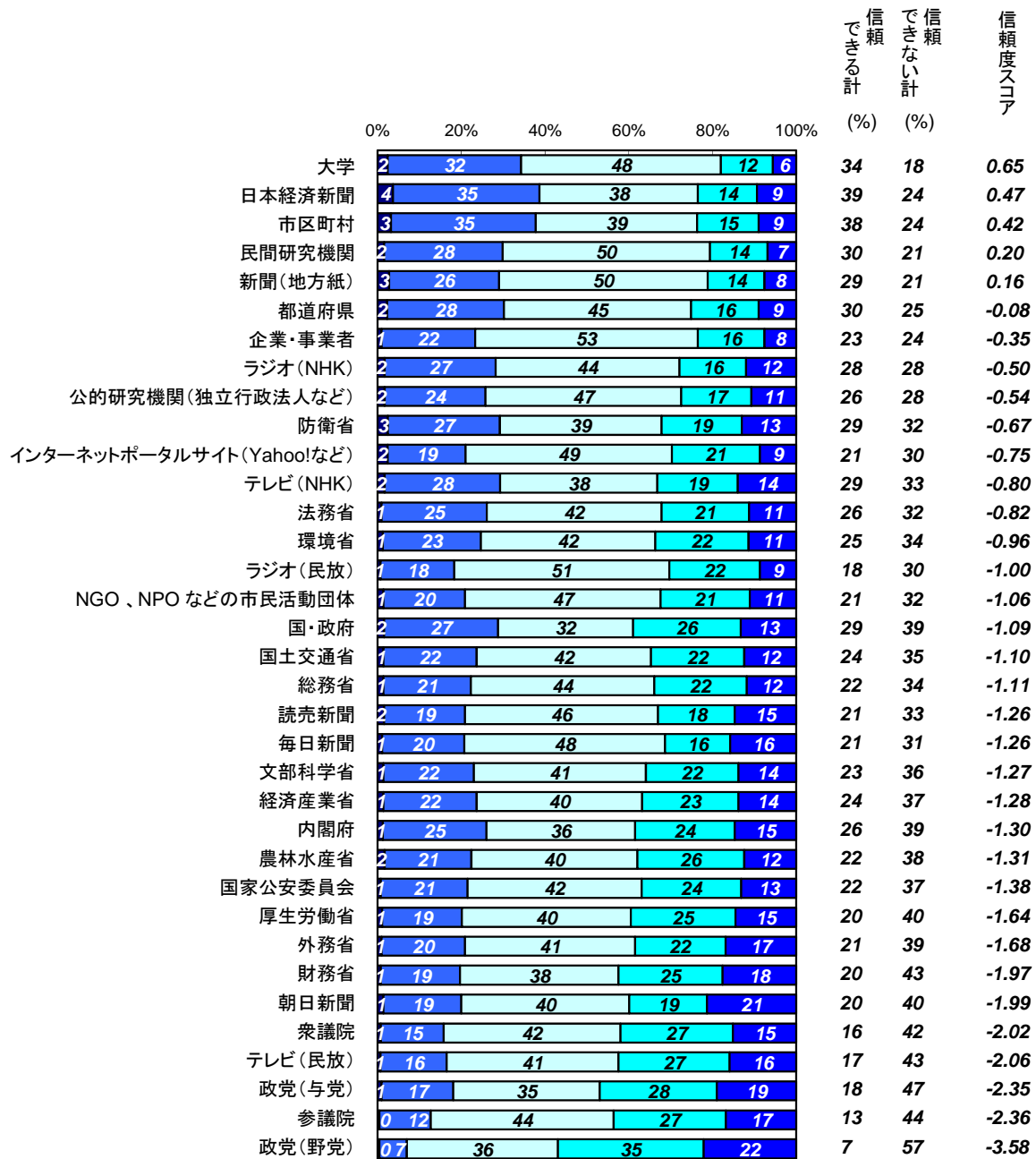
35機関の信頼度スコアの平均値は2009年に比べ回復していますが、最近特に信頼度が低下したものを尋ねると「国・政府」が24.4%と最も多くなっています(表1)。国民の声を無視した強行採決や公約を守らない姿勢が不信へとつながっています。

「テレビ(民放)」「テレビ(NHK)」の信頼度が低下した理由としては、偏向報道や情報操作、番組の質の低下、NHK会長の言動を指摘する声がみられます。

このリリースに関するお問い合わせ先: 株式会社ノルド社会環境研究所
東京都中央区京橋3-3-14 京橋AKビル 電話03-5542-1061 担当:福田(ふくた)
ホームページ <http://www.nord-ise.com/>

図 1: 各種機関・メディアの情報信頼度
2014 年[N=709]

問: 下記にあげるような機関やメディアの情報について、
あなたはどの程度信頼していますか。



■ 大いに信頼できる(+10)
 ■ まあ信頼できる(+5)
 どちらともいえない(0)
■ あまり信頼できない(-5)
 ■ 信頼できない(-10)

()内は平均スコア算出に用いた得点

信頼できる計 = 「大いに信頼できる」 + 「まあ信頼できる」
 信頼できない計 = 「あまり信頼できない」 + 「信頼できない」

このリリースに関するお問い合わせ先: 株式会社ノルド社会環境研究所
 東京都中央区京橋 3-3-14 京橋 AKビル 電話 03-5542-1061 担当:福田(ふくた)
 ホームページ <http://www.nord-ise.com/>

図 2: 情報源の信頼度
2009年と2014年の順位・平均スコアの比較
[2014年(N=709)、2009年(N=2,000)]

2009年			2014年		
順位	機関・メディア名	信頼度スコア	順位	機関・メディア名	信頼度スコア
1	日本経済新聞	0.71	1	大学	0.65
2	大学	0.43	2	日本経済新聞	0.47
3	民間研究機関	0.18	3	市区町村	0.42
4	新聞(地方紙)	0.18	4	民間研究機関	0.20
5	インターネットポータルサイト	-0.20	5	新聞(地方紙)	0.16
6	NGO、NPOなど	-0.49	6	都道府県	-0.08
7	読売新聞	-0.56	7	企業・事業者	-0.35
8	ラジオ(NHK)	-0.61	8	ラジオ(NHK)	-0.50
9	毎日新聞	-0.61	9	公的研究機関(独立行政法人など)	-0.54
10	テレビ(NHK)	-0.70	10	防衛省	-0.67
11	企業・事業者	-0.82	11	インターネットポータルサイト	-0.75
12	朝日新聞	-0.88	12	テレビ(NHK)	-0.80
13	ラジオ(民放)	-1.01	13	法務省	-0.82
14	公的研究機関(独立行政法人など)	-1.08	14	環境省	-0.96
15	市区町村	-1.17	15	ラジオ(民放)	-1.00
16	テレビ(民放)	-1.31	16	NGO、NPOなど	-1.06
17	都道府県	-1.41	17	国・政府	-1.09
18	法務省	-2.54	18	国土交通省	-1.10
19	国土交通省	-2.54	19	総務省	-1.11
20	総務省	-2.81	20	読売新聞	-1.26
21	国家公安委員会	-2.82	21	毎日新聞	-1.26
22	経済産業省	-2.86	22	文部科学省	-1.27
23	環境省	-2.86	23	経済産業省	-1.28
24	文部科学省	-2.98	24	内閣府	-1.30
25	外務省	-3.11	25	農林水産省	-1.31
26	財務省	-3.17	26	国家公安委員会	-1.38
27	農林水産省	-3.17	27	厚生労働省	-1.64
28	国・政府	-3.22	28	外務省	-1.68
29	防衛省	-3.37	29	財務省	-1.97
30	政党(野党)	-3.37	30	朝日新聞	-1.99
31	厚生労働省	-3.40	31	衆議院	-2.02
32	内閣府	-3.50	32	テレビ(民放)	-2.06
33	参議院	-3.60	33	政党(与党)	-2.35
34	衆議院	-3.84	34	参議院	-2.36
35	政党(与党)	-4.50	35	政党(野党)	-3.58
全機関の平均スコア		-1.91	全機関の平均スコア		-1.08

このリリースに関するお問い合わせ先: 株式会社ノルド社会環境研究所
東京都中央区京橋 3-3-14 京橋 AKビル 電話 03-5542-1061 担当:福田(ふくた)
ホームページ <http://www.nord-ise.com/>

表 1: 最近特に信頼度が低下した機関・メディアのトップ 5
[2014 年 (N=709)]

問: 上にあげた 1)~35)の機関やメディアの情報のうち、最近特に信頼度が低下したと思うものをひとつあげて、その理由を書いてください。

2014年

	機関・メディア名	回答割合
1	国・政府	24.4%
2	テレビ(民放)	12.1%
3	テレビ(NHK)	10.9%
4	朝日新聞	8.0%
5	政党(野党)	6.6%

表 2: 最近特に信頼度が低下した機関・メディアトップ 5 の主な選定理由
[2014 年 (N=709)]

国・政府(114件)
<ul style="list-style-type: none"> ・公約を守らない人たちが中心だから ・特定秘密保護法案や、集団的自衛権の行使、原発再稼働など、民意に反していると思われることを強行 ・政府の発表内容が変わってくる。国民を信頼していない ・国民感情を無視している ・最近問題発言やうそが多すぎるから ・都合の良いことしか述べていないように見受けられるため ・数の力で重要な法案をろくに審議もせず強行採決させる ・本来業務すらまともに遂行しない ・言っていることとやっていることが正反対 脱原発と言いつつ、他国にセールス ・国民の声をあまり聞いていない ・正しい情報を出す余裕がなくなったのであろう。稚拙な情報統制が垣間見える ・国会の様子などを見ていると、本当に政治家を信用しても良いのか不安になることがある ・原発問題をはじめ、自分たちに都合がよい情報は提供するが、そうでない情報はださない ・TPP交渉前に言っていたことが、変わってきている ・外交から復興、経済成長まで全て空論で終わってしまっているから ・特定秘密保護法案の可決 ・税率をあげたり 好き勝手やっている ・沖縄の基地問題 ・憲法改正を急ぐこと ・震災の復興が進んでいない。消費税の増税 ・原発事故の隠ぺい策

このリリースに関するお問い合わせ先: 株式会社ノルド社会環境研究所
東京都中央区京橋 3-3-14 京橋 AKビル 電話 03-5542-1061 担当:福田(ふくた)
ホームページ <http://www.nord-ise.com/>

- ・震災の時に直ちに正しい情報が出なかった
- ・福島原発事故や他の原発の再稼働の問題に関して明らかに情報を隠したりや意図的な行動をしている
- ・復興がひとつすすんでいない上に自分たちの身内の中でやりあたりばかりしているから
- ・福島第一原発事故の対応や発表内容があまりに杜撰だったこと
- ・安倍内閣になってからあらゆる面で質の低下が著しいから
- ・総理が独裁者のように権力で物事をどんどん勝手に決めていくように思えて、危うさを感じるから
- ・何を言ってもやっても安倍内閣は対米隷属で信用できない。国益を損なうことしかしていない
- ・生活が日々悪化している
- ・世の中が良くならないから
- ・いちじるしい右傾化

テレビ(民放)(62件)

- ・都合のよいところだけを抜き取って報道する
- ・政府の味方をして反対意見を取り上げない
- ・流す情報が、偏っていたり、感情が入っていたり、公平とは思えない
- ・つまらない番組ばかりで、面白半分の偏向報道も多くなっているようで、全く視聴する気がしない
- ・情報の歪曲化した垂れ流し
- ・やたら中国と韓国寄りの発言が目立つ
- ・根拠のない番組を放送してしまう
- ・正しい情報や信頼できる情報を発信していないように思うので
- ・本当に大切なことを報道しないから。情報統制されているから
- ・報道する自由を乱用しておきながら、報道しない責任について何も応えていないから
- ・インターネットの普及で自分でニュースを選べるようになり、何故か全く報道されないニュースがあることを知ったことや、番組のやらせ問題
- ・報道の改ざんが目立ってきた
- ・やらせなど、昔から信用していない。基本つくりものである
- ・知識の無い人間の大胆な発言が目立つのと、その場に合わせた手のひら返しが激しい
- ・上り坂の人を持ち上げては突き落とす、大人のいじめを平気でやってること。移り気でポリシーがない
- ・スポンサーの金で質の悪いものしか作らないから
- ・番組内容の稚拙さ
- ・品がない
- ・視聴率と経費ばかりこだわっている気がする

テレビ(NHK)(60件)

- ・トップの発言の不適切さ。公共放送としての自覚のなさ
- ・会長の発言問題などあったため
- ・受信料をとっている国営放送なのに、中立的な報道をしないで、安倍政権のヨイシヨイばかり。経営陣の失言も目立つ
- ・会長や経営委員の不穏当な発言がひどい。公共放送の使命感が果たされない危機感がある
- ・会長の問題と、佐村河内氏の問題で

このリリースに関するお問い合わせ先: 株式会社ノルド社会環境研究所
 東京都中央区京橋 3-3-14 京橋 AKビル 電話 03-5542-1061 担当:福田(ふくた)
 ホームページ <http://www.nord-ise.com/>

- ・多様な意見を取り上げようと言う姿勢が見られない
- ・ニュース番組に恣意的な編集が目立つようになった
- ・不偏不党、公平を失っている。偏向報道が目立つようになってきた
- ・裏付けのない報道や、宣伝に繋がる放送が多くなっていると思うから。
- ・情報操作、記者のレベル低下、上層部の社会的常識の低迷
- ・虚偽の内容や社員の犯罪も多い
- ・不祥事が多すぎ
- ・社員が高給とりで悪さしてるから
- ・国営放送としての義務を果たしているとは思えない
- ・NHKは信用できない
- ・公共放送としての信頼を失っている
- ・佐村河内氏のドキュメンタリーが詐欺だったので
- ・受信料を徴収していることに胡坐をかいている

朝日新聞(41件)

- ・記事の内容がかなり偏ってきており公平な報道機関ではなくなったから
- ・特定の国に肩入れする偏向報道が続いているので
- ・偏った報道がされていると思うから
- ・反日的な記事が多い
- ・日本の新聞にも関わらず、反日をおおっているから
- ・従軍慰安婦関連の不正確報道の垂れ流しを検証していない
- ・従軍慰安婦問題の報道のありかた
- ・最近特にというよりも、以前からずっと信頼度は無い
- ・記事の内容が余りにもひどすぎる
- ・嘘ばかり流しているから
- ・何事にも批判ばかりしているから
- ・事実ではなく、主張を報道している
- ・機関紙のようになっている

政党(野党)(29件)

- ・建設的な意見がない
- ・言っていることとやってることがバラバラ。信用できない
- ・反対意見のみ主張、ポリシーがない
- ・人材不足で力が落ちている
- ・政策がない
- ・党のまとまり感がない
- ・まとまりがなく、すぐに党が分裂して何をしたいのかわからない
- ・義務を果たせてない。
- ・やる気がない。熱意を感じられない
- ・問題があり過ぎて与党と対等でない

このリリースに関するお問い合わせ先: 株式会社ノルド社会環境研究所
 東京都中央区京橋 3-3-14 京橋 AKビル 電話 03-5542-1061 担当:福田(ふくた)
 ホームページ <http://www.nord-ise.com/>

本調査の概要

本調査は、ノルド社会環境研究所の自主調査「社会環境に関するアンケート調査」の一環として行いました。その概要は以下の通りです。

調査対象：全国の20歳以上の男女個人(インターネットユーザー)

調査方法：Web アンケート

サンプル抽出方法：生活者モニターからの無作為抽出（性・年齢別の人口比に応じて抽出）

有効回収サンプル数：709 サンプル

調査時期：2014年3月17日～30日

※2009年調査は、同様の方法で2009年7月に実施しました。

株式会社ノルド社会環境研究所

“ピープルズシンクタンク”を理念とする独立系民間調査研究機関。社会環境政策、地域計画、マーケティング、CSR、広報・コミュニケーション分野の調査研究及びコンサルティングを行なっている。

このリリースに関するお問い合わせ先：株式会社ノルド社会環境研究所
東京都中央区京橋 3-3-14 京橋 AKビル 電話 03-5542-1061 担当:福田(ふくた)
ホームページ <http://www.nord-ise.com/>